

株式会社マエダモールド

愛知県常滑市

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

常滑焼の伝統技術と先端技術を融合して、新しいものづくりにチャレンジ

- 常滑焼の生産技術である石膏型の製造技術を応用することで、高品質な人工乳房を低コストで生産
- 石膏型の職人の手作業による技術と、3D スキャナーや工作機械といった先端技術を融合
- 強みを冷静に分析するとともに、市場のニーズを的確に捉え、新事業に積極的な経営に取り組んでいる

企業基本情報

所在地	愛知県常滑市瀬木町3丁目60番地
電話/FAX	0569-35-3109/0569-34-7947
URL	http://maeda-mold.co.jp/index.html
代表者	代表取締役 前田 茂臣
設立	1985年
資本金	1,000万円
従業員数	13人(役員・アルバイト含)



会社概要

同社は、1954年に常滑市で創業、1985年5月に法人化した石膏型製造業である。常滑焼の製造に用いる石膏型の製造が本業であるが、「今までやったことがない難しい仕事でも、とりあえずやってみる」という気風を大切にしている会社であり、衛生陶器やファインセラミックス、建材モデルなど、様々な分野の型づくりを行ってきた。そうして培った型づくりの技術を活用して、人工乳房をはじめとする人工ボディ事業部や金属加工など、常に新しいものづくりにチャレンジしている。



会社外観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

常滑焼の生産技術を活かし、全くの異分野で新事業を展開

長年培ってきた常滑焼の生産技術の一つである石膏型の製造技術は、急須や衛生陶器など曲面の多い常滑焼独特の技術である。

この技術と先端技術である3Dスキャナーとデータ加工技術等を融合することで、精度の高い人工乳房の石膏型を製造し、乳がんによって乳房を切除した方向けのシリコン製の人工乳房を開発した。

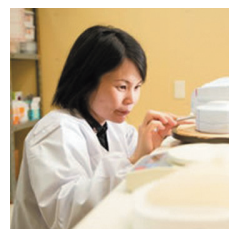


人工乳房

完成度の高い人工乳房を安価で提供することを実現した

これまで、人工乳房は義手や義足の職人による手作業によるものがほとんどで、製作技術や価格も職人によって大きく異なっていた。

常滑焼の石膏型という職人の技術と3Dスキャナーや工作機械といった先端技術を融合させることで、精巧な再現性を持つ人工乳房の石膏型を製造した。この石膏型を用いることで、シリコン製の人工乳房を量産化することに成功した。これにより、高い完成度の人工乳房を安価で販売することが可能となり、乳房切除を行った乳がん患者のニーズを満たしている。



人工乳房の製造工程

培った技術に先端の技術や設備を融合させて新分野を開拓

代表取締役は、地域資源である常滑焼の石膏型製造という縮小傾向にある業界にありながら、同社の強みである職人の技術力をベースにして、先端の3Dスキャナーや工作機械を導入し、人工乳房等を開発する人工ボディ事業部を創設したが、それにとどまらず金属加工の分野にも進出し、新たな市場を獲得している。結果として、近年縮小傾向にある業界にあっても、売上伸張、利益確保を実現している。



先端機械も積極的に導入